

長野県JAバンクの地域密着型金融の 取組状況について(平成27年度)

平成29年1月



- ◆ 長野県JAバンク(長野県下JAと長野県信用農業協同組合連合会)では、農業と地域社会に貢献するため、長野県JAバンク中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。
- ◆ 平成27年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめたので、ご報告いたします。

目次

- I. 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援
（長野県JAバンクの農業メインバンク機能強化への取組み）
… P.1
- II. 担い手の経営のライフステージに応じた支援
… P.11
- III. 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供
… P.18
- IV. 農山村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山村等地域育成への貢献
… P.24

I .農山漁村等地域の活性化のための 融資を始めとする支援 (長野県JAバンクの農業メインバンク機能強化への取組み)

- ◆ 長野県JAバンクは、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

I -(1) 農業融資商品の適切な提供・開発①

- ◆ 長野県JAバンクは、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- ◆ 平成28年3月末時点の長野県JAバンクの農業関係資金残高^(注1)は475億円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は128億円となりました。

(注1) 農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

(注2) 長野県JAバンクが農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの受託貸付金を取り扱っています。受託貸付金残高には、JA転貸分が含まれています。

I - (1) 農業融資商品の適切な提供・開発②

【営農類型別農業資金残高】

(単位:百万円)

(注)

	28年3月末時点
農業	36,668
穀作	2,077
野菜・園芸	19,443
果樹・樹園農業	2,751
工芸作物	2
養豚・肉牛・酪農	2,096
養鶏・鶏卵	139
養蚕	0
その他農業	10,156
農業関連団体等	10,889
合計	47,557

1. 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。
2. 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。
3. 「農業関連団体等」には、JAや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。

I - (1) 農業融資商品の適切な提供・開発③

【資金種類別農業資金残高】

(単位:百万円)

種類	28年3月末時点
プロパー資金	38,724
農業制度資金	8,833
農業近代化資金	5,255
その他制度資金	3,578
合計	47,557

(注)

1. プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
2. 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことで長野県JAバンクが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。
3. その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

(単位:百万円)

種類	28年3月末時点
日本政策金融公庫資金	12,829
その他	0
合計	12,829

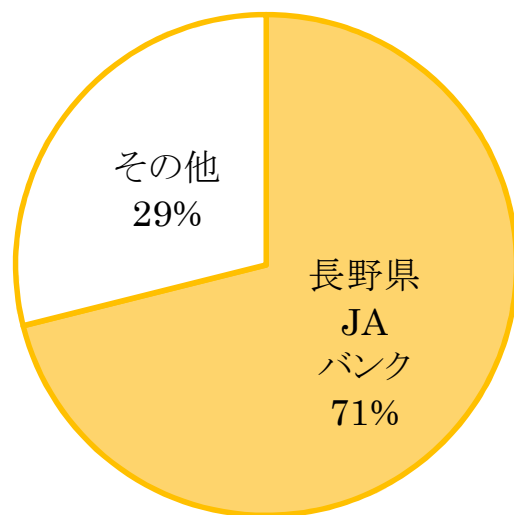
(注)

長野県JAバンクでは、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

I - (1) 農業融資商品の適切な提供・開発④

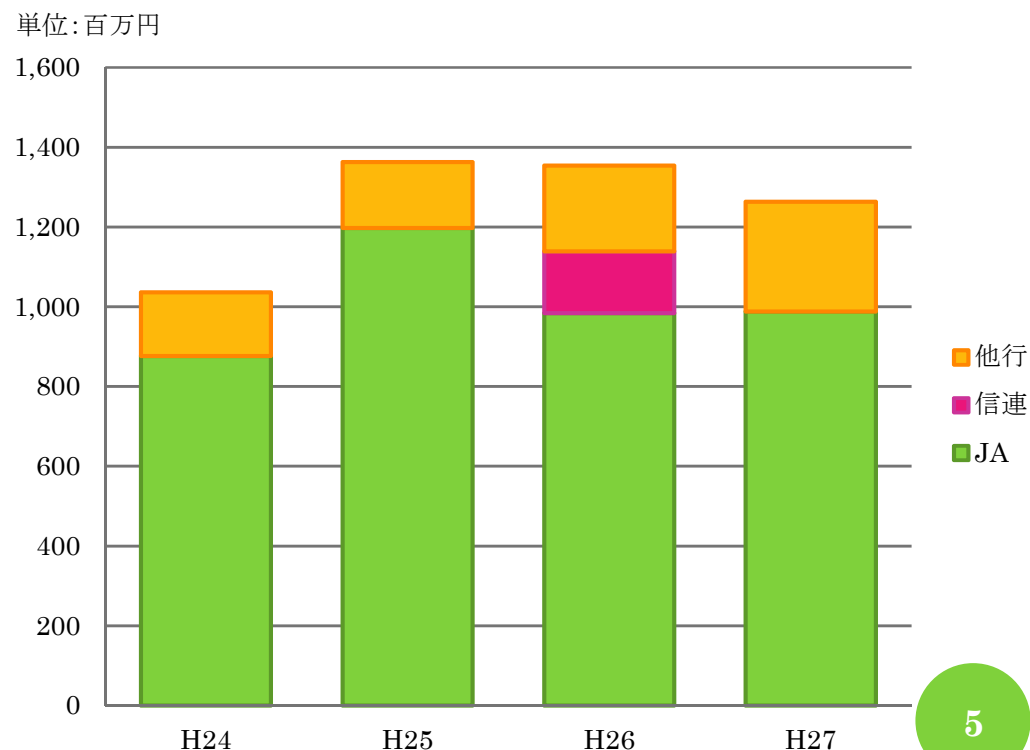
- ◆ 長野県JAバンクは主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【農業近代化資金 融資残高シェア】



(平成27年12月末時点)
出所:長野県農政部農村振興課

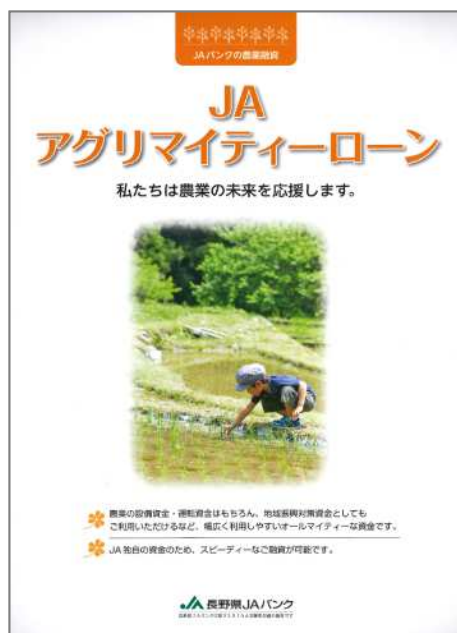
【農業近代化資金 利子補給承認状況】



(平成28年3月末時点)
出所:長野県農政部農村振興課

I - (1) 農業融資商品の適切な提供・開発⑤

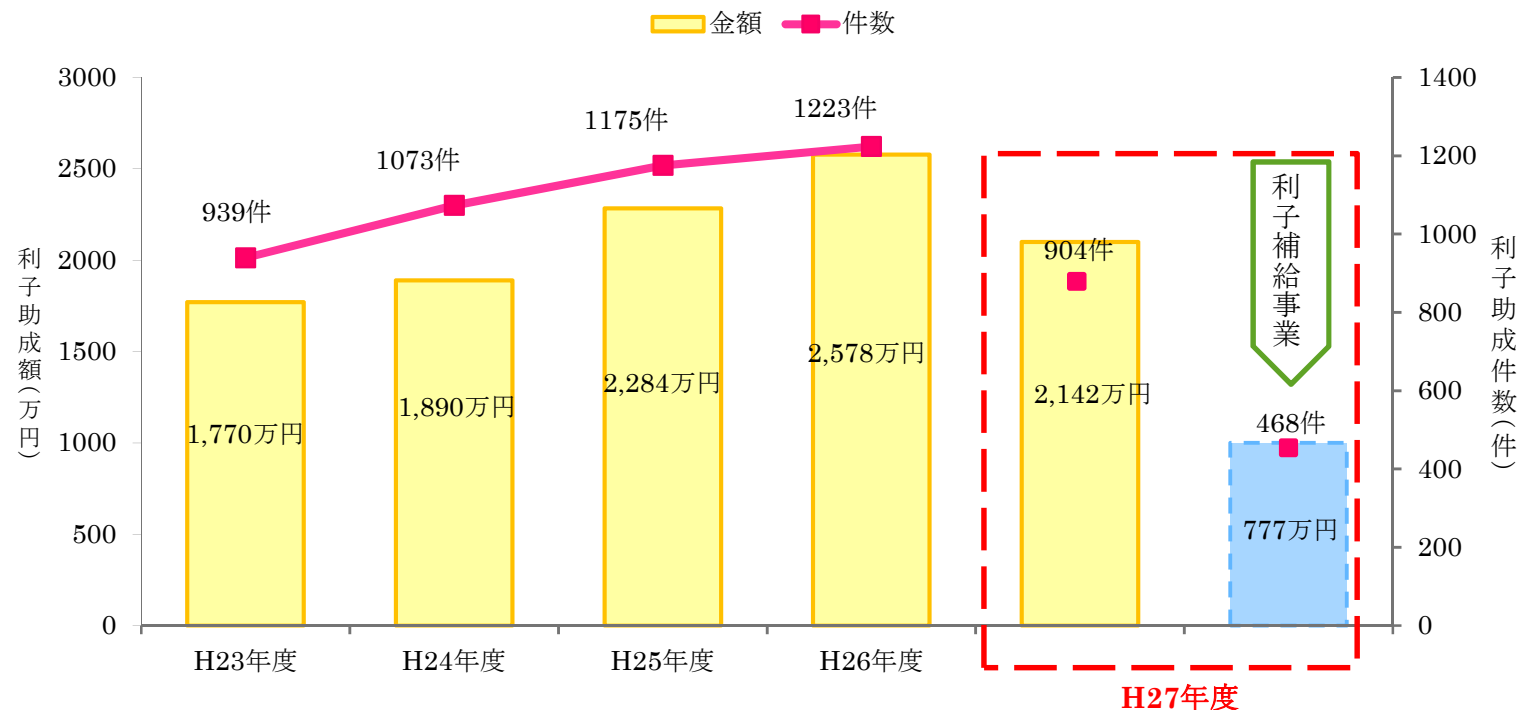
- ◆ 長野県JAバンクでは、農業者からの資金要請に対応するため各種農業資金をご用意しております。
- ◆ 主力商品である「**JAアグリマイティーローン**・**JA農機ハウスローン**」は多くの農業者にご利用いただいております。
- ◆ 引き続き農業者のニーズの適切な把握に努め、商品力の拡充に取り組み、長野県の農業をバックアップしていきます。



I - (2) 農業融資への利子助成・補給事業の実施

- ◆ 農業経営の安定化・効率化を図る目的で、JAバンクアグリ・エコサポート基金による農業資金借入者への利子助成事業として「JAバンク利子助成事業」を実施しております。
- ◆ 同事業は平成27年度1月より「JAバンク利子補給事業」へと移行しました。引き続き農業者の方への支援に取り組んでまいります。
- ◆ 平成27年度における両事業の合計申請取扱件数は、**県下1,372件**となっております。

【利子助成・補給実績推移(長野県取組実績)】

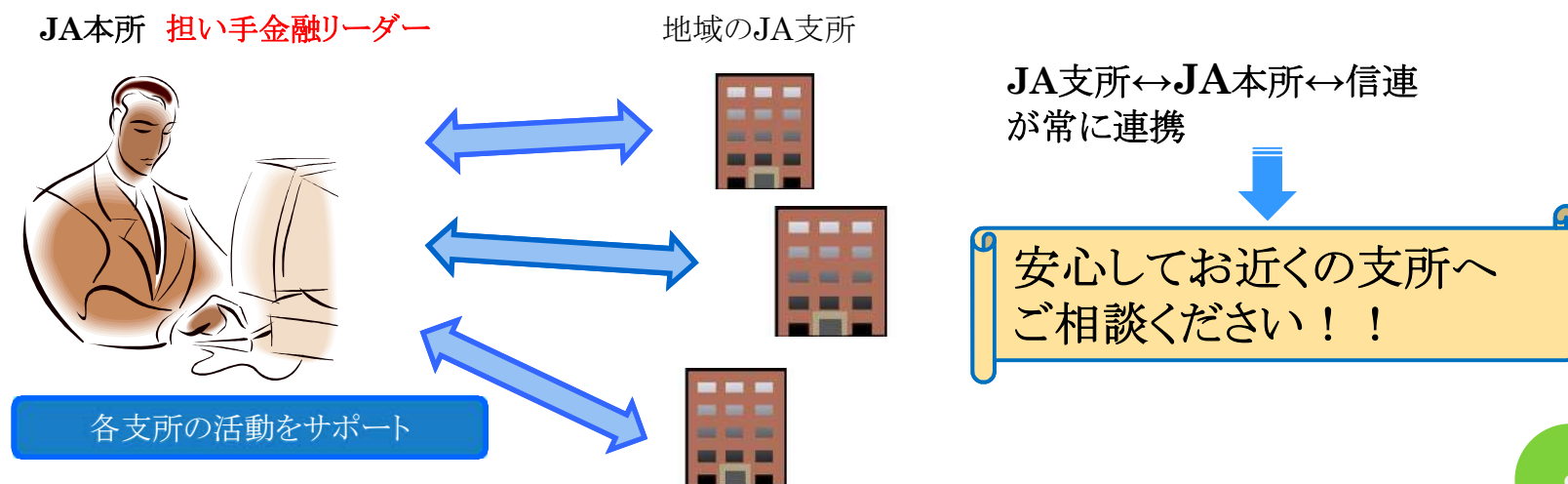


(注) 利子助成も利子補給も借入者の利息負担を軽減させるため、国や地方公共団体、JAバンク等が借入利息の一部を負担する制度です。利子助成は借入者が一旦支払った利息に対する助成金を後ほど受け取るのに対して、利子補給は借入時の金利を下げることで借入者の負担軽減を図るという違いがあります。

I - (3) 担い手のニーズに応えるための体制整備①

- ◆ 長野県JAバンクでは、地域の農業者との関係を強化し、地域農業の振興を支援するための体制整備に取り組んでいます。
- ◆ JAでは、本支所の農業融資担当者が、営農・経済担当がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内JAの本所には**35人**の「担い手金融リーダー」(注1)が設置され、支所の活動をサポートしています。

(注1) 担い手金融リーダーとは、平成17年度よりJA系統独自に導入しているJA内農業金融部門の企画・推進機能を担う他部門連携や実績・情報・管理の責任者です。
- ◆ 信連では、JAのサポート・指導機能、大規模農業者等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。



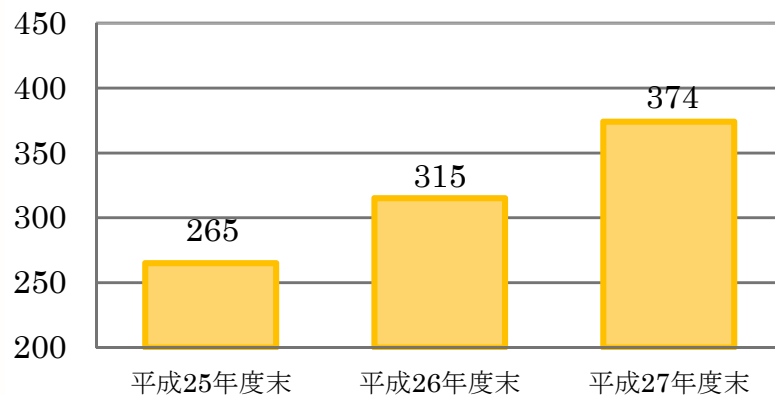
I - (3) 担い手のニーズに応えるための体制整備②

- ◆ 農業融資担当者の資金相談・経営相談等に関する知識・ノウハウの一層の充実をはかり、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応じていくことを目的に、農業融資の実務に即した資格の取得に取り組んでいます。
- ◆ 平成27年度末において、長野県JAバンクでは
374名の「JAバンク農業金融プランナー」(注1) と**73名**の「農業経営アドバイザー」(注2) がおり、農業者からの相談・要望にお応えしています。

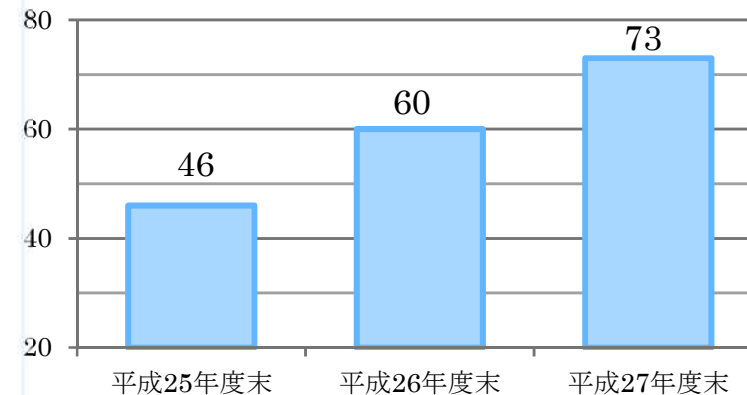
(注1) 農業金融プランナーとは、平成23年度より導入しているJA系統独自の農業融資資格制度です。

(注2) 農業経営アドバイザーとは、農業経営者のニーズに対応し、経営への総合的かつ的確なアドバイスを実践できる人材を育成するために日本政策金融公庫が平成17年度に創設した資格制度です。

【農業金融プランナー数】



【農業経営アドバイザー数】



I - (4) 農業者向け資金のPR活動

- ◆ 長野県JAバンクは、イベントや新聞広告等を通じたPRを行い、長野県の農業をバックアップしていきます。

【農業融資のPR活動】

JA農機&資材フェスタ2015

開催日	平成27年7月31日～8月1日
概要	農業資金・ボーナスキャンペーンのPR ① 会場内における推進資材等の配布 ② 長野県JAバンクのブースを設置 来場者に対する農業資金の相談・PR
相談内容	・定年後就農をするにあたって農業資金について興味があった。 ・規模拡大を図る際に利用可能な資金について教えて欲しい。 など、来場した農業者のお話を伺い、許可を頂いた方については担当JAへ情報提供を行いました。



【農業資金の相談風景】



【農業資金のPR】

Ⅱ.担い手の経営のライフステージに応じた支援

- ◆ 長野県JAバンクは、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

Ⅱ-(1)次世代農業者の支援①

- ◆ 長野県JAバンクでは、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。
- ◆ 長野県における融資の実績は次表のとおりです。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

(単位:件, 百万円)

	平成27年度		28年3月末時点
	実行件数	実行金額	残高
青年等就農資金	63	308	309
就農施設等資金	－	－	334
その他	0	0	6
合計	63	308	649

Ⅱ-(1)次世代農業者の支援②

【JA新規就農応援事業】

(単位:件,百万円)

JA新規就農応援事業	平成27年度	
	実行件数	実行金額
営農支援事業	43	8.6
研修支援事業	15	12.3
合計	58	20.9

- JAバンク独自の新規就農者へのサポート事業として、農業振興等に貢献するために設立された「JAバンクアグリ・エコサポート基金」がJAバンク新規就農応援事業に取り組みました。
- 同事業では、従来からの研修受け入れ先への取組支援を通じ、新規就農者の独立就農を後押しする研修支援事業に加えて、平成27年度より若手農業者の就農直後の経営安定化を図るために新たに営農支援事業を創設しました。

Ⅱ-(2) 農商工連携にかかる商談会等開催状況①

【長野県JAグループ初の主催商談会】



いきいき信州 農産加工品 展示商談会		
出展団体数	43団体	
来場団体数	230社（345名）	
経緯	「長野県の食の魅力・思いを発信する場」、ならびに「バイヤーの皆様から市場の声を聞く場」として、JA長野信連主催により、長野県JAグループとしては初めての主催商談会を開催しました。	
概要	開催日：平成27年11月12日 長野県内JA14団体、JA関連法人4団体、農業法人14団体、農業関連法人10団体、全農の計43団体を一堂に集めた農産加工品展示商談と、その加工品の原料となる県内生鮮食品PRイベントも開催しました。新商品や試作品等の「チャレンジ商品」も出展し、ビジネスチャンス拡大を図りました。	
参加者の声 (主な意見)	セラー	バイヤー
	「タイミングがよく好評だった」 「ニーズ把握の参考になった」	「じっくり商品が見られて良かった」 「次回開催を希望する」



【チャレンジ商品(新商品・開発中商品)コーナー】



【商談会の風景】

Ⅱ-(2) 農商工連携にかかる商談会等開催状況②

【北陸商談会へ初参加】

JA・JFグループ北陸信州食の魅力発掘商談会		
参加団体数	25団体(うち県内参加団体5)	
来場団体数	26団体(うち県内参加団体4)	
経緯	北陸新幹線(長野経由)延伸で直結した北陸地方の市場開拓を目的に、平成22年より農林中金と富山・石川・福井3県のJAバンクおよびJFマリンバンクが、3県のJAグループとの共催で開催されている「JAグループ・JFグループ北陸商談会」に平成27年7月より参加しました。	
概要	開催日:平成28年1月21日 商談会の形式:事前マッチング方式(1商談25分, 1日最大8商談) 内容: 富山・石川・福井3県および長野県の農産物・海産物・山菜とその加工品等を,セラーが直接出品する形式を取り,バイヤーは「地産地消」に積極的な地場企業をはじめ,首都圏などからも食品に関連した様々な業態の皆さまにご参加いただきました。	
参加者の声 (主な意見)	セラー	バイヤー
	「販路拡大に結び付きそう」 「バイヤーの生の声を聞いた」 「希望する相手と商談できた」	「良いセラーに出会えた」 「生産者の生の声が聞いた」



【商談会の風景】

- ◆ 長野県JAバンクは、県内農業者の販路開拓支援に向けた取り組みを行っています。

Ⅱ-(3) 若手農業者に対する金融セミナーの開催

- ◆ 長野県JAバンクは、将来の長野県農業を背負って
いく農業者の経営サポートに取り組んでいます。

【長野県JAバンク 若手農業者支援】

平成27年度若手農業者向け金融セミナー

対象参加者	若手担い手農業者
参加者数	118名
内容	①金融セミナー ②講演会 ・先進的な取組を行う農業法人からの講演 ・社会保険労務士による農業経営に関する労務管理について ③交流会
参加者の声	全体を通して ①金融セミナー わかりやすかった (73%) ②講演会 参考になった (89%) ①金融セミナー 「農業資金について知らなかった多くのことを、 知ることができてよかった。」 ②講演会 「6次産業化の取組が参考になった。」 「既成概念にとらわれない柔軟な発想が参考になった。」 「農業独特の労務について詳しく知ることができた。」



【セミナーの風景】



【雇用と労務管理についての講演会】
特定社会保険労務士 入来院重宏氏

Ⅱ-(4) 経営不振農業者の経営改善支援

- ◆ 長野県JAバンクでは、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

【平成27年度の農業者の経営改善支援等の取り組み実績】

(単位: 先数)

		期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	事業計画策定率 =a/A	ランクアップ率 =b/A
正常先①		95	26		88	27.4%	
要注意先	うちその他要注意先②	57	27	5	43	47.4%	8.8%
	うち要管理先③	5	2	0	1	40.0%	0.0%
破綻懸念先④		60	27	3	32	45.0%	5.0%
実質破綻先⑤		34	6	1	23	17.7%	2.9%
破綻先⑥		1	1	0	1	100.0%	0.0%
小計 (②～⑥)の計		157	63	9	100	40.1%	5.7%
合計		252	89	9	188	35.3%	3.6%

(注) 期初経営改善支援取組先及び債務者区分は平成23年3月末時点でのものです。

Ⅲ.経営の将来性を見極める融資手法を始め、 担い手に適した資金供給手法の提供

- ◆長野県JAバンクでは、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

Ⅲ-(1) 農業法人向け資本供与①

- ◆平成22年度より、アグリビジネス投資育成株式会社の農業法人に対する資本供与の枠組みである「アグリシードファンド」の活用に取り組んでおり、これまでの成約実績は**7件・59百万円**となっております。

【アグリシードファンド活用実績】

(单位:件,百万円)

	平成27年度		28年3月末時点
アグリシード ファンド	投資決定件数	投資決定金額	出資金総額
	1	10	59



Ⅲ-(1) 農業法人向け資本供与②

- ◆ 6次産業化を支援する「6次産業化ファンド」については、平成25年4月にJA全国グループによる広域ファンドとしての「JA・6次化ファンド」が設立されました。

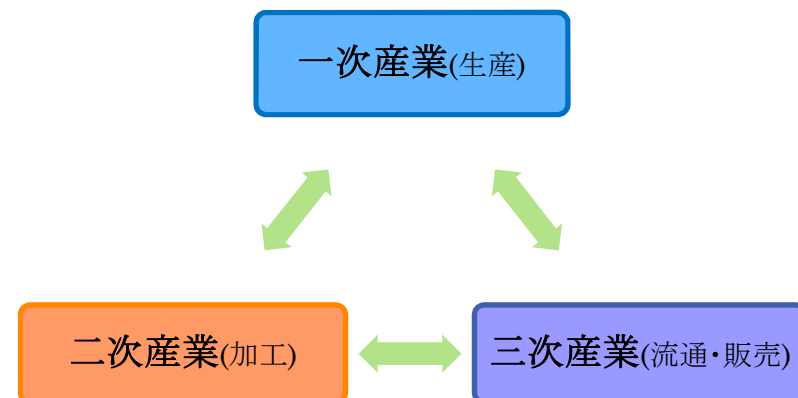
【長野県JAバンクとしての取組】

- ◆ 県内金融機関等との地域ファンドである

「信州アグリノベーションファンド(略称=SAIF)」の設立をいたしました。(平成25年7月1日～)

(単位:件, 百万円)

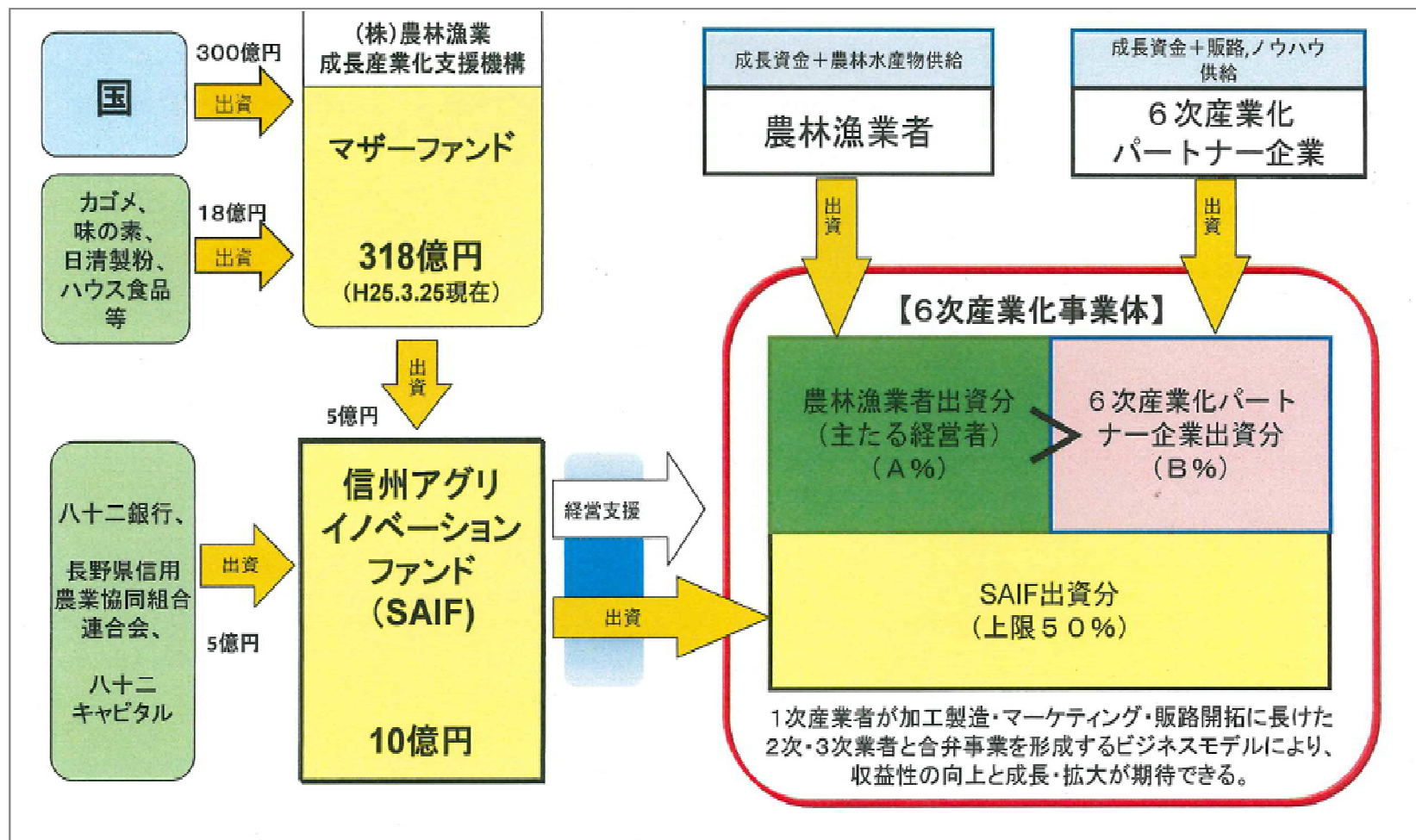
	平成27年度	
SAIF 活用	投資決定件数	出資金額
	3	114



※6次産業化イメージ

Ⅲ-(1) 農業法人向け資本供与③

【信州アグリイノベーションファンド概念図】



Ⅲ-(2) 負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

- ◆ 長野県JAバンクでは、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成27年度負債整理資金の貸出実績】

(単位:件, 百万円)

資金名	平成27年度		
	実行件数	実行金額	残高(28年3月末)
農業資金(負債整理型)	12	153	172
農業負債整理資金	0	0	88
農業経営負担軽減支援資金	0	0	116
農家負担軽減支援特別資金	0	0	1
畜産関係資金	1	7	619
その他	1	2	534
合計	14	162	1,530

- 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
- 畜産特別資金等は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

Ⅲ-(3) 動産担保を活用した農業融資の活用

- ◆ JAバンクでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。
- ◆ 長野県における融資の実績は次表のとおりです。

【長野県における平成27年度活用実績】

(単位:件, 百万円)

種類	件数	残高	内容
農畜産物	3	1	肉用牛
機械設備	6	80	農機具
その他	1	19	売掛債権担保
合計	10	100	

IV.農山漁村等地域の情報集積を活用した 持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

- ◆長野県JAバンクでは、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

IV-(1)被災者・生産資材高騰等への支援資金①

- ◆ 長野県JAバンクでは、生産資材の価格高騰や農産物価格の下落を含む災害への対策資金の創設や、個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

(単位:件,百万円)

取組事例	JA名	内 容	件数	貸付 実行金額
JAバンク利子助成事業	長野県JAバンク	長期にわたる農畜産物の消費・価格低迷等が、農家経営に多大な影響を与えている現状を踏まえ、農家のコスト負担を軽減することを目的に、JAが農家・組合員に融資している農業運転資金に対し、長野県信連が実施体となり利子助成を実施しました。	904	21
JAバンク利子補給事業	長野県JAバンク	長期にわたる農畜産物の消費・価格低迷等が、農家経営に多大な影響を与えている現状を踏まえ、農家のコスト負担を軽減することを目的に、JAが農家・組合員に融資している農業運転資金に対し、長野県信連が実施体となり利子補給を実施しました。	468	7
JAアグリマイティ(災害緊急資金)の対応	長野県JAバンク	自然災害等(農畜産物の価格下落及び資材価格の高騰を含む)の発生に際して緊急性を要する復旧や経営維持にかかる資金に対応しました。	4	6
平成26年2月雪害対策資金の対応	長野県JAバンク	平成26年2月の大雪で雪害被害を受けた農家・組合員に対して、復興に向けた資金対応をしました。	31	52

IV-(1)被災者・生産資材高騰等への支援資金②

(単位:件, 百万円)

取組事例	JA名	内 容	件数	貸付 実行金額
平成27年JA長野八ヶ岳雹害 対策資金	JA長野八ヶ岳	JA長野八ヶ岳では, 平成27年8月の降雹により被害を受けた農家に対し, 無利息(利子補給後)にて資金を対応しました。	3	8
果樹の雹被害への対応	JAみなみ信州	果樹の雹被害を受けた組合員に対し, 低金利資金を融資対応しました。	1	2
きのこ特別対策資金	JAちくま	JAちくまでは, きのこ農家に対するきのこ価格低迷に対してJAちくまより利子補給を行う低利の資金を設定対応しております。	1	5
平成27年きのこ生産運転資金	JA須高	きのこ販売価格の低迷による夏場の運転資金不足に対し, きのこ農家の生産維持継続を図るための低利資金を対応しました。	7	10
平成27年度きのこ夏季運転資金	JA中野市	きのこ販売価格の低迷により困窮する夏場の運転資金を低利により対応しました。	84	874

IV-(1)被災者・生産資材高騰等への支援資金③

(単位:件, 百万円)

取組事例	JA名	内 容	件数	貸付 実行金額
山ノ内町がんばる農業応援資金	JA志賀高原	農業者が経営の近代化・安定化・経営の規模拡大・効率化及び災害に伴う経営復興を図るとき、また、後継者及び新規就農者が農業を営む上で必要な資金を融資する事を目的とする。 町とJAからの利子助成により低利な金利となっている。	37	66
菌茸季節対策資金	JA志賀高原	競合産地の増加等により、菌茸販売価格は低迷し、加えて季節的に販売価格差が顕著に現れており、経営に重大な影響が出ている。 菌茸生産農家からは、季節的に資金の枯渇するときの対応の要請があり、果樹生産農家の前渡金制度の代わりとなる資金対応を行い、菌茸生産農家の経営安定を図るもの。	9	22
きのこ価格低下期間の 運転資金の対応	JA北信州みゆき	JA北信州みゆきでは、きのこ価格低迷により困窮する生産者に対し、きのこ生産における必要な運転資金を当JA特別会計より利子補給する低利資金を対応しました。	10	20
合 計			1,559	1,093

IV-(2) その他地域密着への取組み①

- ◆ 長野県JAバンクは、総合事業を活かした商品を通じて、地産地消に取り組んでいます。

【長野県JAバンク JAによる取組み】

農業生産基盤強化助成事業（JA信州うえだ）	
経緯	地域農業振興と強い農業づくりを目指し、農業生産基盤の「維持・拡大」と今後の生産基盤の「創造・醸成」の両輪を進めるため、多品目栽培の実現と農家経営の効率化・省力化を図り、農畜産物の増収および品質向上につなげることを目的としています。
概要	農業生産の拡充と品質向上等を目指す事業及び強い農業づくりの支援を行っています。
成果	平成22年度～27年度 6ヶ年の助成事業実績 受益農家戸数 1022件 全般346件, 米穀40件, 野菜114件, きのこと43件, 果実391件, 畜産4件, 花き84件 事業費 342,806千円 助成額 67,011千円 地域農業振興に係る経営支援, 素畜導入支援 助成額 19,282千円
今後の予定	農業生産基盤強化助成事業は継続していきます。事業内容は年度ごと選定し、目的にあった助成とします。

IV-(2) その他地域密着への取組み②

【長野県JAバンク JAによる取組み】

農業振興, 生産拡大補助事業 (JA信州諏訪)	
経緯	資材の高騰や農畜産物価格の低迷による農業経営の危機に対処するため, 力強い農業づくりを目標とする「第3期長期構想21・前期中期3カ年計画」を実現するために行う農業振興・生産拡大を目的としたJA補助事業です。
概要	各品目に応じた施設整備に対する補助や, 生産拡大に向けた取組の支援を行っています。
成果	平成27年度(2015) 補助事業実績 対象受益戸数 481件 (全品目共通95件, 米穀9件, 野菜花き共通304件, きのこと6件, 果樹・直販33件, 畜産34件) 事業費実績153,095千円, 補助金実績 21,375千円
今後の予定	2016年度は「平成28年度 JA信州諏訪 農業振興サポート事業」に名を改め, 農業所得の増大のための生産販売額の確保・維持を実現するために農業振興サポート事業として補助事業実施しています。

IV-(2) その他地域密着への取り組み③

【長野県JAバンク JAによる取り組み】

農業者向けセミナー（JA上伊那）	
経緯	JA上伊那における平成27年度事業計画の重点取り組み事項に、「営農部門・信連と連携した農業者セミナー(研修会)の開催」と掲げていることもあり、営農部長にも出席いただく中、金融部主体で上伊那地域における農業の現状等の発信、および農業資金に係るセミナーを開催しました。
概要	上伊那地域の農業者向けに2部構成のセミナーを開催しました。内容は、第1部は講師に上伊那農業改良普及センターを招き、「長野県と上伊那地域の農業の現状と課題について」を、第2部は長野県信連を講師に招き、「農業制度資金の活用について」を講義していただきました。
成果	出席者は11名と少なかったものの、出席者の感想では「県、上伊那の生産データが数字、グラフ等で見ることでよかった。」等、概ね好評でした。また、セミナー後に農業資金についての照会が1件ありました。
今後の予定	開催時期が繁忙期と重なってしまったため、今後は営農部が主催する担い手向けのセミナーがありますので、そこにJA上伊那の農業資金等について情報発信する枠を設けて対応していきたいと考えています。

IV-(2) その他地域密着への取組み④

【長野県JAバンク JAによる取組み】

新規就農者への資金支援にかかる積極的な取組み(JAあづみ)	
経緯	当JA重点品目でもある「夏秋イチゴ」の新規就農者増加に伴い積極的な資金支援のため、制度資金を中心とした資金の円滑な実行を目的とし、事業計画策定の段階から、JA(営農, 金融), 信連, 普及センター, 公庫との連携による取組の強化を行いました。
概要	当人と各部門担当者参加による打合せ会議において、意見交換・情報交換による「実抜計画」のを基本とした実践的なアドバイスにより、審査時間短縮をめざしました。
成果	取組時期が遅かった為、平成27年度の実績は些少であったが、28年度は6月末の段階で11件の実行、8件の相談受付となっています。
今後の予定	今後とも、部会等を通じた面談を通じて次世代就農者へのサポートを継続的に実施します。

IV-(2) その他地域密着への取組み⑤

【長野県JAバンク JAによる取組み】

きのこ生産者への資金繰り支援(JA北信州みゆき)	
経緯	例年、夏季にきのこ単価が低迷する中、きのこ生産者への資金繰り支援が課題となっています。 そんな中、「きのこ特別運転資金貸出要項」を制定し運転資金に困窮するきのこ生産者に対し低利の運転資金を融通しきのこ生産の安定と資金繰りの支援をしています。
概要	貸出先 : JAに取引実績があるきのこ生産者。 資金使途 : きのこ経営の維持に必要な運転資金。 貸出利率 : 末端金利0.3% (JA特別会計より利子補給を行う) 貸出期間 : 貸出日から翌年3月末日までの間 貸出形式 : 手形貸付金 (利息後取) 貸出限度 : 前年(9月～12月)の出荷実績の70%以内に100gあたり8円を乗じた額が限度となります。 償還方法 : 期日一括返済 借入者の償還財源は、10月から翌年3月までの間のきのこ清算時に100gあたり5円を償還期日まで別途控除し、償還期日の元金、利息に充てます。
成果	夏場に費用がかさむ電気代や資材代金の支払いを安定して行う事ができます。 返済財源をJAからのきのこ代金清算時に自動的に積立てることで生産者が返済財源を確保する負担を減らし、確実な返済を見込むことができます。 平成27年度は貸付先10件、貸付金額2,072万円の実績がありました。
今後の予定	きのこ単価の予想以上の下落により、資金繰りが更に難しくなっている生産者もあり、運転資金の確保と共に経営の改善が必要となって来ています。

IV-(2) その他地域密着への取組み⑥

【長野県JAバンク 秋冬キャンペーン2015】



懸賞品付定期貯金「Slow風土」(スローフード)

経緯	「地産地消」や「地域に根ざしたJAバンク」をテーマに、「JAらしさ」を追求した取り組みとして、平成27年度県下統一秋冬キャンペーンにおいて、平成21年度から長野県内の農畜産物等を景品とした懸賞品付定期貯金「Slow 風土」(スローフード)を発売しました。
概要	キャンペーン期間：平成27年10月1日～12月30日 ・預入期間1年以上のスーパー定期貯金、大口定期貯金 ・20万円を一口として抽選券を付与し、抽選により「信州の食」および「東北のうめえもの」をプレゼントします。 ・期間中ご契約いただいた方に、「ちょいスリバーシブルバッグ」をプレゼントします。 ・「信州の食」または「東北のうめえもの」に当選されなかった方の中から抽選で400名様に「トシ・ヨロイツカ ヴィラデスト」コラボスイーツ「えごま」パウンドケーキをプレゼントいたします。
効果	金融商品を通じて、県内農産物を旬の時期にお届けし、地元農産物の魅力を再確認していただくことで、地産地消の促進と農業所得増大への貢献を目指しています。
今後の予定	今後も農業所得増大と地域活性化に向け、身近にJAバンク、JAらしさを感じていただける「長野県の農・食」をキーワードにした商品として、引き続き実施していく予定です。



【当選賞品例】

【ご契約者プレゼント】

IV-(2) その他地域密着への取組み⑦

【長野県JAバンク 農業応援定期の開設】



JA農産物直売所クーポン券付き定期貯金「マルシェ」

経緯	「農業所得増大」と「地域活性化」をテーマに、総合事業を営むJAだからこそできる「農」と「食」をキーワードとした地域活性化への貢献を通じて、JAの社会的機能の発揮を実現することを目的とし、JA農産物直売所で使用できるクーポン券を特典とした定期貯金商品の取扱を、平成27年6月より開始しました。
概要	取扱期間：平成27年6月1日～9月18日（募集総額200億円達成の翌々営業日をもって取扱終了） 商品概要： ・お一人様100万円まで ・期間1年のスーパー定期貯金 ・預入10万円ごとに県内のJA直売所およびエコープ計61箇所ので使える 500円分のクーポン券 をプレゼント
成果	直売所利用者である地域住民（貯金者）と出荷者双方から、喜びの声をいただいております。 金融商品を通じて、県内産農産物の売上向上による農業者所得向上、地元農産物の魅力の再発見、地域活性化などの一助となれたのではないかと感じています。 長野県JAバンクでは、20万名を超える皆さまに公的年金をお受け取りいただいております。
今後の予定	平成28年度は、利用可能店舗を増やすなどマイナーチェンジをおこない、4月より取扱を開始し、27年度より10営業日早く200億円を達成しました。 商品名とともに、農業所得増大と地域活性化を目指すコンセプトが認知されつつあると感じています。この目的を忘れず、次年度以降も引き続き実施していく予定です。

